

# 參考資料





北九州市障害児・者実態調査項目一覧表									
令和4年度実態調査項目									
質問等項目									
大項目	質問等項目	身体障害がある人 用	知的障害がある人 用	精神障害がある人 用	障害がある子ども 用	発達障害がある人 用	難病患者用		
リハビリ訓練について	44 あなたは今までにどのようなリハビリテーションなどの支援を受けましたか。	問31	問30	問38	問32	問33	問31	問33	問31
	45 今後、特にどのようなリハビリテーションなどの支援を受けたいですか。	問32	問31	問39	問33	問34	問32	問34	問32
生活に関する悩み の相談について	46 あなたは生活に関する悩み、不安等は誰に相談していますか。	問33	問32	問40	問34	問35	問33	問35	問33
	47 今後、相談機関に、特に何が必要だと思いますか。	問34	問33	問41	問35	問36	問34	問36	問34
医療機関の利用について	48 医療機関へかかるとき、「かかりつけ医」を決めていますか。	問35	問34	問42	問36	問37	問35	問37	問35
	49 「かかりつけ医」は障害の専門医ですか。	問36	問35	問43	問37	問38	問36	問38	問36
障害者福祉サービス等の利用について	50 あなたが受診している難病の専門医の診療科は何ですか。	x	x	x	x	x	x	x	x
	51 あなたが受診している難病の専門医がいる病院は、どこにありますか。	x	x	x	x	x	x	x	x
障害者福祉サービス等の利用について	52 あなたは次の障害福祉サービス等を利用していますか。	問37	問36	問44	問38	問39	問37	問39	問37
	副問1 現在の利用状況								
	副問2 今後3年以内の利用予定								
	あなたは次の地域生活支援等を利用していますか。	問38	問37	問45	問39	問40	問38	問40	問38
障害者スポーツについて	53 副問1 現在の利用状況								
	副問2 今後3年以内の利用予定								
情報収集とコミュニケーションについて	54 あなたは普段どのようなスポーツを行っていますか。	問39	問38	問46	問40	問41	問39	問41	問39
	55 あなたがスポーツに参加するために、特に何を求めますか。	問40	問39	問47	問41	問42	問40	問42	問40
コミュニケーションについて	56 日頃、あなたはニュースや行事などの一般的な情報を、どこから知ることが多いですか。	問41	問40	問48	問42	問43	問41	問43	問41
	57 あなたは障害のことや福祉サービスについての情報を、どこから知ることが多いですか。	問42	問41	問49	問43	問44	問42	問44	問42
コミュニケーションについて	58 あなたが最も多く利用する通信手段は何ですか。	問43	問42	問50	問44	問45	問43	問45	問43
	59 副問1 あなたに必要なコミュニケーション支援は何ですか。	問44	問43	問51	問45	問46	問44	問46	問44
	副問2 あなたが電子申請できない理由は何ですか。	問45	問44	問52	問46	問47	問45	問47	問45
災害時の対応について	60 あなたは行政窓口で手続きしていることが、パソコンやスマートフォンから電子申請できる場合、電子申請を利用しますか。	問46	問45	問53	問47	問48	問46	問48	問46
	61 もしも災害が起こったとき、必要な情報はどのようにして(誰から)手に入れようと考えていますか。	問47	問46	問54	問48	問49	問47	問49	問47
災害時の対応について	62 あなたは地震や台風、大雨などの災害が発生したとき、避難する場所を知っていますか。	問48	問47	問55	問49	問50	問48	問50	問48
	63 副問1 あなたは、災害が発生したとき、一人で避難できますか。	問49	問48	問56	問50	問51	問49	問51	問49
	副問2 あなたは、災害時の対策として何か準備していることがありますか。	問50	問49	問57	問51	問52	問50	問52	問50
障害のある人の人権や差別問題について	64 あなたにとり、災害時に特に必要な支援は何ですか。	問51	問50	問58	問52	問53	問51	問53	問51
	65 これまでに障害があるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。	問52	問51	問59	問53	問54	問52	問54	問52
障害のある人の人権や差別問題について	66 副問1 どのような場面で差別やいやな思いをしましたか。	問53	問52	問60	問54	問55	問53	問55	問53
	副問2 どのような差別やいやな思いをしましたか。	問54	問53	問61	問55	問56	問54	問56	問54
差別問題について	67 差別を受けたらいいやな思いをしたとき、相談したり解決したいと思ったことはありましたか。	問55	問54	問62	問56	問57	問55	問57	問55
	68 副問1 解決するため相談等を行ったことがありますか。	問56	問55	問63	問57	問58	問56	問58	問56
	副問2 相談を受ける側にごのような対応を望みましたか。	問57	問56	問64	問58	問59	問57	問59	問57
	69 差別やいやな思いを減らすためには、どうすればいいと思いますか。	問58	問57	問65	問59	問60	問58	問60	問58
	69 障害者差別解消法・北九州市障害者差別解消条例について知っていますか。	問59	問58	問66	問60	問61	問59	問61	問59

北九州市障害児・者実態調査項目一覧表									
令和4年度実態調査項目									
質問等項目									
大項目	質問等項目	身体障害がある人 用	知的障害がある人 用	精神障害がある人 用	障害がある子ども 用	発達障害がある人 用	難病患者用		
障害のある子どもを持つ家族の支援について	70 保護者への質問(障害のある子どもを持つ家族に対してどのような支援が必要と考えますか。)	x	x	x	問55	問56	問57	問58	問57
	71 あなたが国や県、市などに、これから特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。				問55	問57	問58	問59	問58
	意見・要望	○	○	○	○	○	○	○	○

【聞き取り調査票】

北九州市障害児・者等実態調査（身体障害者用）

所 属	_____	氏 名	_____
<b>【聞き取り者】</b>			
<b>【 対 象 者 】</b>			
※ 「対象者」とは障害のあるご本人のことを意味します。			
聞き取りNo.	_____		
聞き取り時の状況	本人一人 ・ 同席者あり ( 家族・支援者・その他 )		
施設利用の状況	入 所 ・ 通 所 ・ その他 ( )		
郵送調査対象	有 ・ 無		

【目次】

- 1) 本人のことについて . . . . . 1
- 2) お住まいのことについて . . . . . 2
- 3) 障害福祉サービス等の利用について . . . . . 2
- 4) 日常生活の状況について . . . . . 4
- 5) 行政への意見・要望について . . . . . 7

【本人のことについて】

年 代	20 歳未満 ・ 20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 50 歳代 ・ 60～64 歳
性 別	男 性 ・ 女 性 ・ その他 ( )
手帳の種類	身体 ( 級 ) ・ 療育 ( ) ・ 精神 ( 級 ) なし ・ その他 ( )
主たる障害の種類 <small>身障郵送調査票 問 5・6 参照</small>	主たる障害の主な要因
その他重複する障害 <small>身障郵送調査票 問 5・6 参照</small>	その他重複障害の主な要因
障害判明の年齢	
知的障害 <small>知的郵送調査票 問 5 参照</small>	無 ・ 有 → 診断名 ( )
精神障害 <small>精神郵送調査票 問 6 参照</small>	無 ・ 有 → 診断名 ( )
難病の認定	無 ・ 有 → 疾患番号 ( )
発達障害 <small>身障郵送調査票 問 9・36 参照</small>	無 ・ 有 → 診断名 ( ) 支援の提供 無 ・ 有 → 支援内容 ( ) 受診中の診療科 (有れば): 診療内容 ( ) 一般医師受診で困ったこと: 希望すること:
高次脳機能障害 <small>身障郵送調査票 問 10 参照</small>	無 ・ 有 → 関連障害 ( )
受けている医療ケア	無 ・ 有 → 内 容 ( )

※ 「障害者総合支援法の対象となる難病等の範囲」の表の疾患番号

【お住まいのことについて】

住居の種類	持ち家（自身・家族） ・ 民間賃貸住宅 ・ 公共賃貸住宅
引越しの希望	入所型の施設 ・ グループホーム ・ その他（ ） 無 ・ 有 → 理由（ ）
一緒に住む人	無 ・ 有 → 続柄（ ）
介助者の有無・状況 <small>身障者支援調査票 問13参照</small>	無 ・ 有 ※有の場合 介助者の続柄（ ）、年齢： 歳代、 健康状態（ ）、仕事：働いている・働いていない

【障害福祉サービス等の利用について】

1 聞き取りの視点

「障害福祉サービス等を利用してよかった点」、「改善してほしい点」、「サービスを利用する際に何か困っていることはないか」等を具体的に聞き取ってください。

分類記号
A 介護給付サービス
B 訓練等給付サービス
C 地域相談支援サービス
D 計画相談支援サービス
E 地域生活支援事業サービス
F その他

2 聞き取り結果

分類記号	利用しているサービス
1	
良かった点	
改善してほしい点	
困った点	

分類記号	利用しているサービス
2	
良かった点	
改善してほしい点	
困った点	

分類記号	利用しているサービス
3	
良かった点	
改善してほしい点	
困った点	

分類記号	利用しているサービス
4	
良かった点	
改善してほしい点	
困った点	

分類記号	利用しているサービス
5	
良かった点	
改善してほしい点	
困った点	

今後利用したいサービス	
医療ケアで困っていること	無 ・ 有 具体的に困っていること

【日常生活の状況について】

1 聞き取りの視点

「日常生活で困っていること」等を郵送調査票の間を参考に具体的に聞き取ってください。

※ 障害福祉サービス等にかかることは除く

分類記号	通所	入所	入院
A 暮らしについて (施設内、院内での生活)	○	(○)	(○)
B 収入・生活費の状況について (医療費)	○		
C 仕事について	○		
D 日中活動や外出状況について	○		
E 余暇活動や社会的活動について	○		
E リハビリなどの支援について	○	○	○
F 生活に関する悩みについて	○		
G 医療機関の利用について	○		
H 障害者スポーツについて	○	○	○
I 情報収集とコミュニケーションについて	○		
J 災害時の対応について	○		
K 障害のある人の人権や差別問題について	○	○	○
L その他	○	○	○

上記の項目を参考に、具体的にイメージできるように説明したうえで、聞き取ってください。

2 聞き取り結果

分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点

分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点

**3 困ったときに誰に相談していますか。**

「家族や親せき」、「友人・知人・地域の人」、「職場の上司や同僚」、「利用している障害・介護サービス事業所、医療機関の職員」、「障害者団体や家族会」、「通園施設や学校の先生」、「区役所、障害者基幹相談支援センターなどの行政の相談窓口」など、具体的にイメージできるように説明したうえで、聞き取ってください。

**【行政への意見、要望について】**



【聞き取り調査票】

北九州市障害児・者等実態調査（知的・精神・発達障害者用）

所 属 _____		氏 名 _____	
<b>【聞き取り者】</b>			
<b>【 対 象 者 】</b>			
※「対象者」とは障害のあるご本人のことを意味します。			
聞き取りNo.			
聞き取り時の状況	本人一人 ・ 同居者あり ( 家族・支援者・その他 )		
施設利用の状況	入 所 ・ 通 所 ・ その他 ( )		
郵送調査対象	有 ・ 無		

【目次】

- 1) 本人のことについて …………… 1
- 2) お住まいのことについて …………… 2
- 3) 障害福祉サービス等の利用について …………… 2
- 4) 日常生活の状況について …………… 4
- 5) 行政への意見・要望について …………… 7

【本人のことについて】

年 代	20歳未満 ・ 20歳代 ・ 30歳代 ・ 40歳代 ・ 50歳代 ・ 60～64歳
性 別	男 性 ・ 女 性 ・ その他 ( )
手帳の種類	身体 ( 級 ) ・ 療育 ( ) ・ 精神 ( 級 ) なし ・ その他 ( )
身体障害の種類 <small>身障郵送調査票 問6参照</small>	無 ・ 有 → 内容 ( )
障害判明の年齢	
知的障害 <small>知的郵送調査票 問5参照</small>	無 ・ 有 → 診断名 ( )
精神障害 <small>精神郵送調査票 問6参照</small>	無 ・ 有 → 診断名 ( )
難病の認定	無 ・ 有 → 疾患番号 ( ) <small>※「障害者総合支援法の対象となる難病等の範囲」の表の疾患番号</small>
発達障害の認定 <small>知的郵送調査票 問8・35参照</small>	無 ・ 有 → 診断名 ( ) 支援の提供 無 ・ 有 → 支援内容 ( ) 受診中の診療科 (有れば)： 診療内容 ( ) 一般医師受診で困ったこと： 希望すること：
高次脳機能障害 <small>知的郵送調査票 問9参照</small>	無 ・ 有 → 関連障害 ( )
医療ケア	無 ・ 有 → 内 容 ( )

【お住まいのことについて】

住居の種類	持ち家（自身・家族） ・ 民間賃貸住宅 ・ 公共賃貸住宅
引越しの希望	入所型の施設 ・ グループホーム ・ その他（ ） 無 ・ 有 → 理由（ ）
一緒に住む人	無 ・ 有 → 続柄（ ）
介助者の有無・状況 <small>知的動員調査票 問12参照</small>	無 ・ 有 ※有の場合 介助者の続柄（ ）、年齢： 歳代、 健康状態（ ）、仕事：働いている・働いていない

【障害福祉サービス等の利用について】

- 1 聞き取りの視点  
「障害福祉サービス等を利用してよかった点」、「改善してほしい点」、「サービスを利用する際に何か困っていることはないか」等を具体的に聞き取ってください。

分類記号
A 介護給付サービス
B 訓練等給付サービス
C 地域相談支援サービス
D 計画相談支援サービス
E 地域生活支援事業サービス
F その他

2 聞き取り結果	
分類記号	利用しているサービス
1	良かった点
	改善してほしい点
	困った点

2	
分類記号	利用しているサービス
	良かった点
	改善してほしい点
	困った点

3	
分類記号	利用しているサービス
	良かった点
	改善してほしい点
	困った点

4	
分類記号	利用しているサービス
	良かった点
	改善してほしい点
	困った点

5	
分類記号	利用しているサービス
	良かった点
	改善してほしい点
	困った点

今後利用したいサービス	
医療ケアで困っていること	無 ・ 有 ----- 具体的に困っていること

【日常生活の状況について】

1 聞き取りの視点

「日常生活で困っていること」等を郵送調査票の間を参考に具体的に聞き取ってください。

※ 障害福祉サービス等にかかるとは除く

分類記号	通所	入所	入院
A 暮らしについて (施設内、院内での生活)	○	(○)	(○)
B 収入・生活費の状況について (医療費)	○		
C 仕事について	○		
D 日中活動や外出状況について	○		
E 余暇活動や社会的活動について	○		
E リハビリなどの支援について	○	○	○
F 生活に関する悩みについて	○		
G 医療機関の利用について	○		
H 障害者スポーツについて	○	○	○
I 情報収集とコミュニケーションについて	○		
J 災害時の対応について	○		
K 障害のある人の人権や差別問題について	○	○	○
L その他	○	○	○

上記の項目を参考に、具体的にイメージできるように説明したうえで、聞き取ってください。

2 聞き取り結果

分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点
分類記号	困っている点

分類記号	困っている点

分類記号	困っている点

分類記号	困っている点

分類記号	困っている点

分類記号	困っている点

分類記号	困っている点

3 困ったときに誰に相談していますか。  
「家族や親せき」、「友人・知人・地域の人」、「職場の上司や同僚」、「利用している障害・介護サービス事業者」、「医療機関の職員」、「障害者団体や家族会」、「通園施設や学校の先生」、「区役所、障害者基幹相談支援センターなどの行政の相談窓口」など、具体的にイメージできるように説明したうえで、聞き取ってください。

【行政への意見、要望について】

## 「障害福祉施策について」

モニター番号 \_\_\_\_\_

本市では、保健・医療・福祉など総合的な障害福祉施策について、今後、重点的に取り組む内容等を定めた「(次期)北九州市障害者支援計画(仮称)」を令和5年度中に策定することとしています。

つきましては、障害福祉施策に関するご意見・ご要望を伺う「アンケート」を実施し、その結果を本計画の基礎資料とするとともに、今後の本市の障害福祉施策の推進の参考にさせていただきたいと考えております。

皆様の御協力をお願いいたします。

※調査票は「問14」まであります。

### 1. 障害のある人への理解や関心について

問1 あなたは、今までに障害のある人に接したり、交流したりした経験がありますか

- 1 ある
- 2 ない

問2 <問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>

それはどのような障害のある人に接したり、交流したりしたのですか (〇はいくつでも)

- 1 身体障害のある人
- 2 知的障害のある人
- 3 精神障害のある人
- 4 発達障害のある人
- 5 難病患者の人
- 6 その他の障害のある人

問3 <問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>

それは具体的にどのようなことですか (〇はいくつでも)

- 1 身内や親しい人に障害のある人がいる。または、過去、いたことがある
- 2 隣近所に障害のある人が住んでいる。または、過去、いたことがある
- 3 仕事で障害のある人と接している。または、過去、接したことがある
- 4 イベントや行事、趣味等の活動やボランティアで交流している。または、過去、交流したことがある
- 5 車椅子を押ししたり、視覚に障害のある人の道案内(誘導)を手伝ったりしたことがある
- 6 列車やバスなどで席を譲ったり、バスなどの乗降時に手助けしたりしたことがある
- 7 訪問したり、相談相手や話し相手になったりしたことがある
- 8 その他 ( 具体的に: \_\_\_\_\_ )

問4 <問1で「2 ない」と答えた方におたずねします>  
接した経験がない理由は何ですか (〇はいくつでも)

- 1 接する機会やきっかけがなかった
- 2 どのように接したらよいかわからなかった
- 3 おせっかいのような気がした
- 4 気恥ずかしさを感じた
- 5 関心がなかった
- 6 その他 ( 具体的に: \_\_\_\_\_ )

問5 あなたは、障害福祉に関心をお持ちですか (〇は1つだけ)

- 1 大変関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 ほとんど関心がない

問6 <問5で「1 大変関心がある」または、「2 ある程度関心がある」と答えた方におたずねします>  
どのような理由から関心をお持ちですか (〇はいくつでも)

- 1 身内や親しい人、隣近所に障害のある人がいる
- 2 自分も障害のある人になる可能性がある
- 3 テレビなどで障害福祉に関することを目にする
- 4 特に理由はないが、以前から関心を持っている
- 5 福祉に関する職業に就いている
- 6 障害のある人に関するボランティア活動をしている
- 7 自分自身にも障害がある
- 8 その他 ( 具体的に: \_\_\_\_\_ )

問7 あなたは、日常生活や地域で障害のある人に対する差別・偏見などを感ずることがありますか（○は各々1つだけ）

- (1) 身体障害のある人に対して
- |               |               |         |
|---------------|---------------|---------|
| 1 よく感ずることがある  | 2 とどき感ずることがある | 5 わからない |
| 3 あまり感ずることがない | 4 感じない        |         |
- (2) 知的障害のある人に対して
- |               |               |         |
|---------------|---------------|---------|
| 1 よく感ずることがある  | 2 とどき感ずることがある | 5 わからない |
| 3 あまり感ずることがない | 4 感じない        |         |
- (3) 精神障害のある人に対して
- |               |               |         |
|---------------|---------------|---------|
| 1 よく感ずることがある  | 2 とどき感ずることがある | 5 わからない |
| 3 あまり感ずることがない | 4 感じない        |         |
- (4) 発達障害のある人に対して
- |               |               |         |
|---------------|---------------|---------|
| 1 よく感ずることがある  | 2 とどき感ずることがある | 5 わからない |
| 3 あまり感ずることがない | 4 感じない        |         |
- (5) 難病患者の人に対して
- |               |               |         |
|---------------|---------------|---------|
| 1 よく感ずることがある  | 2 とどき感ずることがある | 5 わからない |
| 3 あまり感ずることがない | 4 感じない        |         |

問8 <問7で一つでも「1 よく感ずることがある」又は「2 とどき感ずることがある」と答えた方におたずねします>  
どのようなおところに最も強く障害のある人に対する差別・偏見、または配慮のなさを感ずりますか（○はいくつでも）

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 1 仕事や収入（職場環境や就労条件、賃金など）          |  |
| 2 道路、建物の構造や設備                    |  |
| 3 公共施設、交通機関                      |  |
| 4 教育の機会                          |  |
| 5 隣近所のつきあい                       |  |
| 6 お店や各種窓口などでのサービス                |  |
| 7 サークル・スポーツへの参加                  |  |
| 8 地域行事・地域活動                      |  |
| 9 情報の提供（災害時などを含む）                |  |
| 10 住まいなどの契約（アパートやマンションなどの賃貸契約など） |  |
| 11 その他（具体的に：)                    |  |

## 2. 北九州市の障害福祉施策の取り組み状況について

【障害のある人の雇用・就業機会の確保と拡大】

問9 北九州市では、働く意欲のある障害のある人の雇用を促進するため、障害者しごとサポートセンターを設置し、障害のある人への就労支援に取り組んでいます。

また、企業での障害のある人の雇用を促進するための取り組み、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供し、必要な支援を行う就労継続支援事業所等の充実などにも取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市では、障害のある人の意欲や能力に応じた多様な就業機会が確保されたと感ずりますか。（○は1つだけ）

- |                    |
|--------------------|
| 1 そう感じている          |
| 2 どちらかといえばそう感じている  |
| 3 どちらともいえない        |
| 4 どちらかといえばそう感じていない |
| 5 そう感じていない         |
| 6 わからない            |

【障害者差別解消法や北九州市障害者差別解消法の周知】

問10 平成28年4月1日、障害を理由とする差別を禁止して、障害のない人との平等な機会や待遇を保障するために「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律は、差別を解消するための措置として、国・地方公共団体等及び民間事業者に対して「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が義務付けられています。

また、本市では、「北九州市障害者差別解消法」を補完し、市、事業者および市民が協力して、「障害を理由とする差別」の解消に向け主体的に取り組む、共生社会の実現を目指すための「障害者差別解消条例」を制定しています。

あなたは、「障害者差別解消法」や「北九州市障害者差別解消条例」をご存知ですか（○は1つだけ）

- |                     |
|---------------------|
| 1 内容も知っている          |
| 2 聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3 知らない              |

【障害のある人の人権の尊重】

問 1 1 北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解を深め、障害の有無にかかわらず、お互いの人権を尊重できる社会を実現するため、行政だけでなく地域・学校・企業など様々な機会をとらえた市民啓発を推進しています。そこで、おたずねします。

北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解が浸透し、不当な差別的取扱いの無い、合理的な配慮が提供される社会になったと感じますか（○は1つだけ）

- 1 そう感じている
- 2 どちらかといえばそう感じている
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそう感じていない
- 5 そう感じていない
- 6 わからない

3. 共生社会を実現するための取り組みについて

問 1 2 北九州市では、障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくりを目指しています。今後、地域で生活する障害のある人とかかわっていく中で、あなた自身が地域の一員としてできると思うことは何ですか。次の中から、あてはまるものを選んでください（○はいくつでも）。

- 1 普段から定期的に声かけなどをして見守る
- 2 趣味やスポーツを一緒にする
- 3 簡単な身の回りの回りの世話や外出時の付き添いをする
- 4 外出先等で困っている障害のある人を見かけたときに、声かけや手助けをする
- 5 障害のある人を支える地域活動やボランティア活動に参加する
- 6 災害時の避難する際の声かけや手助けをする
- 7 障害者施設等で作ったものを購入する
- 8 わからない
- 9 その他（具体的に： ）

問 1 3 あなたは、障害福祉施策を充実させるために北九州市が取り組むものうち、今後、特に力を入れるべき取り組みは何だと思いますか。次の中から、あてはまるものを選んでください（○はいくつでも）。

- 1 安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める
- 2 障害のある人の人権を尊重し差別を解消するための啓発活動を促進する
- 3 障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる
- 4 企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する
- 5 早期からの障害児支援（医療や教育など）を充実させる
- 6 重い障害がある人に対する取り組みを充実させる
- 7 入所施設やグループホームなどの住まいの場の整備を進める
- 8 災害時などの情報提供や避難誘導などの障害のある人への対応を充実させる
- 9 障害のある人を支える地域活動やボランティア活動を活性化させる
- 10 障害のある人が地域のコミュニケーション、芸術・文化・余暇活動の推進など、障害のある人の社会参加を促進する
- 11 スポーツやレクリエーション、芸術・文化・余暇活動の推進など、障害のある人の社会参加を促進する
- 12 福祉サービスや医療費助成を充実させ、人材確保に努める
- 13 成年後見制度など障害のある人の権利擁護を推進する
- 14 障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる
- 15 わからない
- 16 その他（具体的に： ）

問14 北九州市の障害福祉施策について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

--

※ ご協力ありがとうございました。



令和4年度 北九州市障害児・者等実態調査

報告書

北九州市印刷物登録番号第221145A号

令和5年3月  
北九州市保健福祉局